



学校だより 4月号

文京区立第一中学校 令和4年4月7日(木)

明日はいつも新しい日

校長 田島佳子

令和四年度の始まりにあたって、モンゴメリ著の「赤毛のアン」という小説の映画でのワンシーンを紹介いたします。これは、昨年度3月に卒業した3年生に私が道德の授業で教材にしたものです。ご存知の方も多いと思いますが、アンは、孤児院育ちで赤毛、空想好きの少し変わった女の子です。カナダのプリンスエドワード島が舞台となって一人の少女が多くの愛情をもらって成長していく物語です。マッシュとマニラという中年の兄妹が男の子の養子进行もらうことになったのですが、来たのはよくしゃべる女の子でした。アンは、様々な騒動を引き起こします。その中で、ジュースと果実酒の区別がつかないアンは親友のダイアナにお酒を飲ませてしまいます。そのことが原因でダイアナのお母さんにダイアナと遊ぶこと、話すことも禁じられてしまいます。寂しい日々を過ごしているところに新しい先生が村の学校に赴任してきます。ステイシー先生と帰り道で話す内容がとても素敵なのです。先生は落ち込んでいるアンに希望を与えます。

「今は我慢よ。辛くても辛抱するのよ」「でも、忘れないで、明日はいつも新しい日よ」とステイシー先生が言うと、アンは「失敗のない新しい日」といいます。ここでさらにステイシー先生は「まだ、失敗のないね。」と微笑みます。さらに誤解を受けて傷ついているアンに「必ず真実が救ってくれる。くじけないのよ。」と励まします。

コロナとの闘いも長くなってきました。世界に目を向けると自国を追われて他国への避難を余儀なくされる人々があります。特にその国の子供たちのことを思うと胸が苦しくなります。豊かな国に暮らしていると、我慢をしなければならない不自由さがとても辛く感じるものです。長い人生では、良い時もそうでない時もあります。しかしどんな時も「明日はいつも新しい日」なのです。希望をもって一日を過ごすことが大事だと私は信じています。「くじけないのよ。」というステイシー先生の言葉が優しく背中を押してくれます。

令和四年度が始まりました。65名の新入生と新しい教職員を迎え、どんな時も前を向いて、生徒に希望が与えられるような教育を目指してまいります。これからも温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

